LYT2591-003A-M

準備する

撮影する

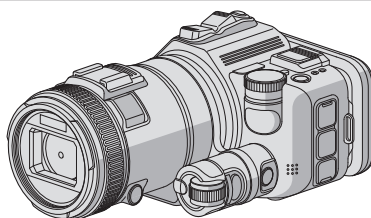
再生する

保存する

その他

ビデオカメラ

型名 **GC-YJ40**

基本取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に、「安全上のご注意」（p. 2）および「使用上のご注意」（p. 36）を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

Web ユーザーガイド

本製品には「基本取扱説明書」（本書）と「Web ユーザーガイド」があります。
詳しい取り扱い方法は下記アドレスの「Web ユーザーガイド」をご覧ください。

■ http://manual3.jvckenwood.com/c3z/lyt2615-032jp

■ **付属のＣＤ－ＲＯＭからもアクセスできます。(p. 23)**

スマートユーザーガイド

外出先などからは、Android 端末または iPhone で取り扱い方法をご覧になれます。

■ http://manual3.jvckenwood.com/mobile/jp/

スマートユーザーガイドは、Android 端末および iPhone に標準搭載のブラウザで閲覧することができます。

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意　感電注意

禁止されていること

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　水場での使用禁止

実行して欲しいこと

一般的指示

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

危険 「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス（+）とマイナス（−）のまちがい
- 金属物（ネックレス、ヘアピンなど）といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温（60℃以上）になる場所に置く
- 落としたり、強い衝撃を与える

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。
・幼児の手の届くところには置かないでください。

禁止

変形や破損したバッテリーは、そのまま放置したり使用しないで処分する

・そのまま放置したり使用すると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。（バッテリーの処分方法については、「使用上のご注意」の「バッテリーの処分について」をご覧ください。）

・ご購入時は充電されていません。充電してお使いください。
・直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

- **長期間使わないときは…**

① 30%程度充電された状態（▮）で保存してください。
② 半年に1 度程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態（▮）で保存してください。

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

禁止

内部に物を入れない

・SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

レンズを直射日光などに向けない

・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない

・交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所で使用しない

・本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
・水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

⚠ 警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

分解禁止

分解・改造をしない
・火災や感電の原因になります。

付属のACアダプター以外は使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

付属のACアダプターを他の機器に使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む
・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

電源コードを傷つけない
・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

コンセントやＡＣアダプター(電源/ＤＣプラグ)に、ほこりや金属を付着させない
・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
・感電の原因になります。

雷がなったら、電源プラグには触らない
・感電の原因になります。

一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る
・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

フラッシュ発光部、ＡＦ補助光は至近距離（数cm）で人の目に向けない・直接見ない
・誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。
・乳幼児を撮影するときは、１m以上離してください。
・運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故の原因となります。

⚠ 注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

5年に1度は内部の点検を販売店に依頼する
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。

グリップベルトをゆるんだまま使用しない
・落下によるけがや故障の原因になります。
また、お子様は大人と一緒にお使いください。

三脚を確実に取り付ける
・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧になり、しっかりと取り付けてください。

一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーを　はずしてください。感電の原因になります。

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

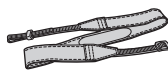
禁止

熱源の近くでは、使用しない
・火災や故障の原因になります。

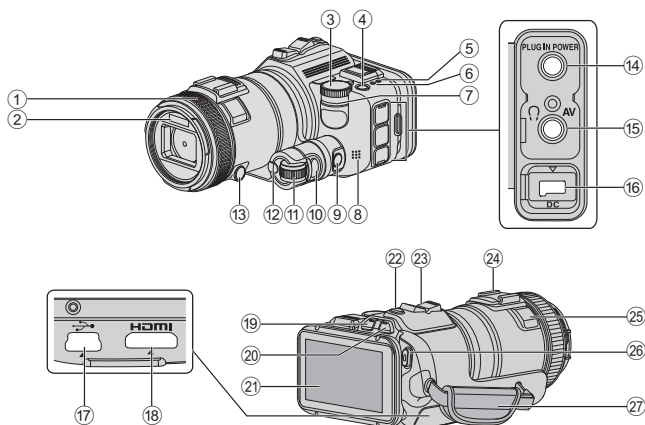
フラッシュ発光部、ＡＦ補助光を被写体へ至近距離（数cm）で発光させない・直接手で触らない・ゴミなど異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない
・やけどの原因になることがあります。
・発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。
・発光直後は、しばらく触らないでください。

もくじ

付属品を確かめる

ACアダプター AP-V20※	バッテリー BN-VF815	USBケーブル (Aタイプーミニ Bタイプ)	AVコード QAM1322-001
HDMI ミニ ケーブル	ビューファインダー	レンズフード	ショルダーストラップ
モニターフード	レンズキャップ	CD-ROM	コアフィルター

- SD カードは別売です。本機で使える SD カードの種類については、p. 15 をご覧ください。
- 紛失等で専用 AV コードをお買い求めの際は、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

※ 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

各部のなまえとはたらき

① フォーカスリング
手動でピントを合わせます。

② ライト(p. 28)/フラッシュ(p. 29)

③ 撮影ダイヤル
撮影モードを切り換えます。

④ ⏻(電源)ボタン

⑤ ACCESS(アクセス)ランプ

⑥ POWER/CHARGE(電源/充電)ランプ(p. 10)

⑦ セルフタイマーランプ

⑧ スピーカー

⑨ TIME CONTROL ボタン
撮影速度選択画面を表示します。

⑩ EXPOSURE ボタン
露出補正画面に切り換えます。

⑪ 調節ダイヤル
撮影速度や露出値などを選びます。

⑫ SET ボタン
撮影速度や露出値を決定します。

⑬ FOCUS ボタン
マニュアルフォーカスに切り換えます。

⑭ マイク端子

⑮ AV 端子(p. 18)/ヘッドホン端子

⑯ DC 端子(p. 10)

⑰ USB 端子(p. 21、p. 24)

⑱ HDMI 端子(p. 18)

⑲ 再生/撮影切換ボタン(p. 17)

⑳ 🎥 / 📷(動画/静止画)ボタン(p. 6、p. 12、p. 14)

㉑ 液晶モニター

㉒ SNAPSHOT(静止画撮影)ボタン(p. 14)

㉓ ズーム / 音量レバー(p. 12、p. 17)

㉔ シュー
外部マイクを取り付けます。

㉕ ステレオマイク

㉖ START/STOP(動画撮影)ボタン(p. 12)

㉗ グリップベルト(p. 8)

液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき

動画モードと静止画モードで、以下の画面が表示され、タッチパネルとして使用できます。(p. 7)

撮影画面(動画／静止画)

① (動画/静止画)切換ボタン

② メモリーズームボタン

③ マークボタン(動画のみ)(p. 12)

撮影中に色々なマークができるマークモードに切り換わります。
再生時、マークした部分を簡単に再生できます。

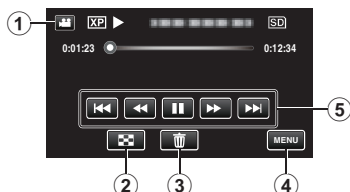
④ 撮影開始/停止ボタン(p. 12、p. 14)

REC　動画撮影開始ボタン
REC　動画撮影停止ボタン

⑤ メニューボタン(p. 27)

⑥ 画面表示切換ボタン

一部の表示は約３秒間で消えます。(シンプル表示)
ボタンを押すと、すべてを表示させることができます。(フル表示)
ボタンを押すたびにシンプル表示とフル表示を切り換えることができます。

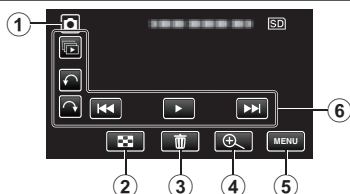
再生画面(動画)

① (動画/静止画)切換ボタン

② 一覧表示(サムネイル表示)ボタン

③ 削除ボタン

④ メニューボタン(p. 27)

⑤ 操作ボタン(p. 17)

再生画面(静止画)

① (動画/静止画)切換ボタン

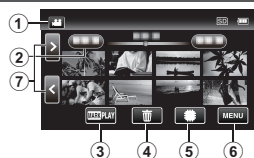
② 一覧表示(サムネイル表示)ボタン

③ 削除ボタン

④ 再生ズームボタン

⑤ メニューボタン(p. 27)

⑥ 操作ボタン(p. 17)

一覧表示（サムネイル表示）

① 📹 / 📷（動画/静止画）切換ボタン

② 日付ボタン

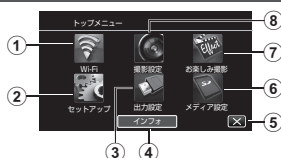
③ マーク再生ボタン（動画のみ）
撮影中にマークしたシーンがわかるように再生ができます。

④ 削除ボタン

⑤ 再生メディアボタン
SD カードと内蔵メモリーを切り換えます。

⑥ メニューボタン(p. 27)

⑦ ページ送り/戻しボタン

メニュー画面（撮影モード）

① Wi-Fi メニュー(p. 26)

② セットアップメニュー

③ 出力設定メニュー

④ インフォボタン

⑤ 終了ボタン(p. 27)

⑥ メディア設定メニュー

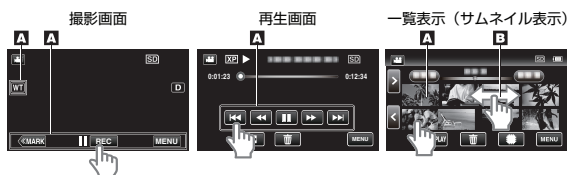
⑦ お楽しみ撮影メニュー

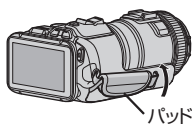
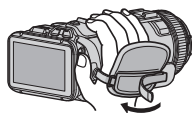
⑧ 撮影設定メニュー

タッチパネルの使い方

タッチパネルには「タッチ」と「なぞる」の２つの操作があります。以下は操作例です。

A タッチパネル上のボタン（アイコン）やファイル（映像）をタッチして、選択します。

B タッチパネル上のファイル（映像）をなぞって、見たい映像を探します。

お知らせ

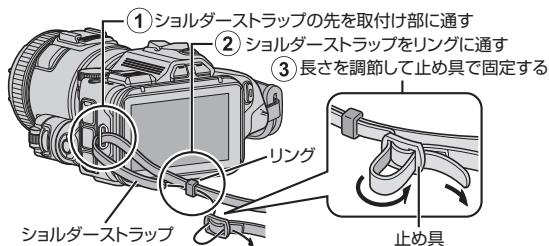
- 本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- 必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 先の鋭い物で操作しないでください。
- 2 箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。
- タッチパネル上のボタン（アイコン）は正確にタッチしてください。タッチする場所によっては正しく反応しないことがあります。
- 画面をタッチしたとき、タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、［タッチパネル調整］(p. 30)を行ってください。（軽くタッチして調整してください。先の鋭い物で押したり、強く押したりしないでください。）

グリップベルトを調節する

②ベルトの長さを調節する

③パッドをしめる

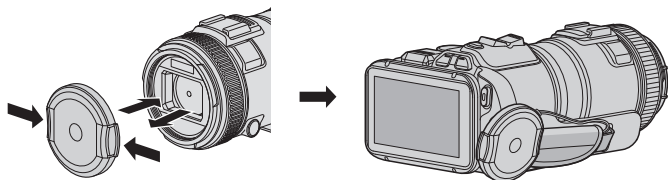
お知らせ

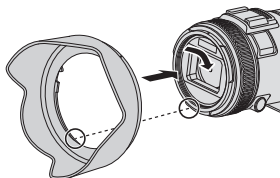
- Wi-Fi アンテナはグリップベルトの内側にあります。
  グリップベルトを調節するときは、Wi-Fi アンテナを引き出さないでください。

ショルダーストラップを取り付ける

お知らせ

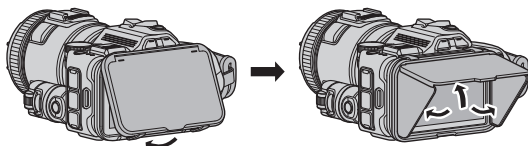
- 持ち運びの際は、本機を落とさないよう十分にご注意ください。
- お子様がご使用のときは、保護者の方が十分にご注意ください。

レンズキャップを取り付ける

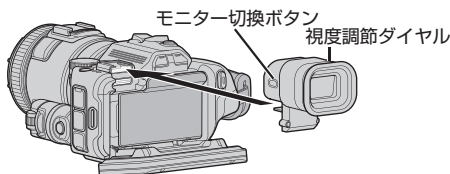
カメラを使わないときや持ち運びするときは、レンズキャップを取り付けてください。
撮影中は、レンズキャップをグリップベルトに取り付けてください。

レンズフードを取り付ける

日差しの強い屋外などで撮影するときは、レンズフードを取り付けることをおすすめします。

- レンズフードと本体の指標（● 印）を合わせ、回転させて取り付けてください。

モニターフードを取り付ける

日光などが入り込み、モニター画面が見えにくいときにモニターフードを取り付けてください。

- 液晶モニター上部の溝に、モニターフードの上側のツメを取り付けてから、下側のツメを取り付けてください。

ビューファインダーを取り付ける

屋外など、明るい場所でモニター画面が見えにくいときは、ビューファインダーを使って撮影してください。

- ビューファインダー端子カバーをはずしてから、ビューファインダーを取り付けてください。

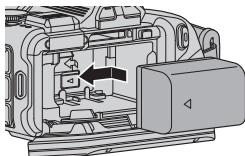
お知らせ

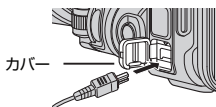
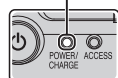
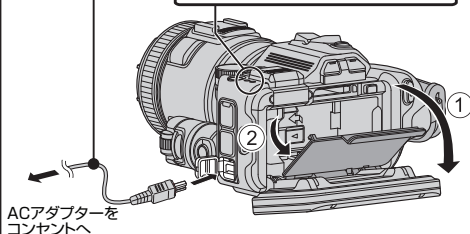
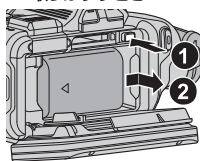
- 取り付け、取りはずしは、電源を切ってから行なってください。
- ビューファインダーのモニター切換ボタンを押すたびに、液晶モニターまたはビューファインダーのどちらかにモニター表示が切り換わります。
- ビューファインダー内の画像が見えにくいときは、ビューファインダーの視度調節ダイヤルを回して調節します。

バッテリーを充電する

1 バッテリーを取り付ける

* お買い上げ時のバッテリーは、充電されていません。

● 液晶モニター(①)を開いてからバッテリーカバー(②)を開きます。

● バッテリーを右側に寄せてから押し込み、「カチッ」と音がするまで左にスライドします。

2 DC端子につなぐ

3 コンセントにつなぐ

■ 取りはずすとき

● バッテリーロックレバー(❶)を押しながら、バッテリー(❷)をスライドさせて取りはずします。

ご注意

必ず当社のバッテリーをお使いください。

● 当社以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。

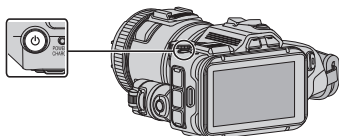
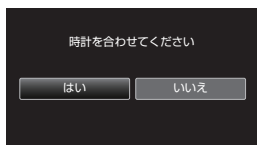
● 充電時間:約 2 時間 10 分(付属バッテリーの場合)

※ 25℃で使用したときの時間です。室温 10℃ ~ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。充電できない場合、充電ランプがゆっくりした周期で 2 回点滅してお知らせします。その際は、バッテリーをしばらく放置して、もう一度充電をおこなってください。
低温など、使用状態によって撮影･再生可能時間は短くなります。

● バッテリー充電中に不具合(過電圧など)が生じた場合、またはＪＶＣ製以外のバッテリーを充電しようとした場合、充電が停止します。この場合、充電ランプが速く点滅してお知らせします。

● AC アダプターを接続して、撮影や再生ができます。(撮影中や再生中はバッテリーを充電できません。)
長時間使用するときは、バッテリーを取りはずしてください。バッテリーをつけたままにすると、バッテリー性能が低下することがあります。

時計を合わせる

1 電源を入れる

2 [時計を合わせてください]が表示されたら、[はい]をタッチする

3 日時を設定する

- [日付]、[時計]の各項目をタッチすると、∧と∨が表示されます。
- ∧または∨をタッチして[日付]、[時計]を合わせます。
- この手順を繰り返して[日付]、[時計]を入力します。

4 日時設定が終わったら、[決定]をタッチする

5 お住まいの地域を選び、[保存]をタッチする（設定完了）

- 都市名と世界標準時（グリニッジ標準時）との時差が表示されます。
- ＜または＞をタッチして、都市名を選んでください。（日本国内の場合は「東京」）

時計を合わせ直すときは

[セットアップ]メニューの[時計合わせ]から時計を合わせてください。

① 電源を入れる

② [MENU]をタッチする

③ [セットアップ]メニューをタッチする

④ [時計合わせ]をタッチする

⑤ [日時設定]をタッチする

- 以降の設定のしかたは、前述の手順 3 ～ 5 と同じです。

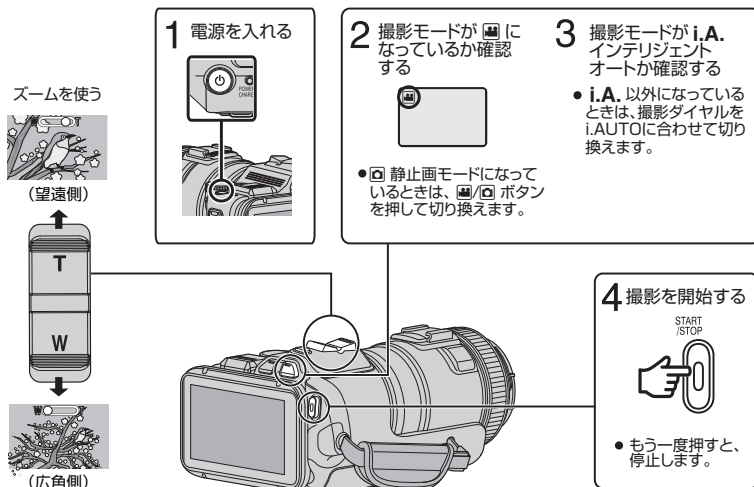
お知らせ

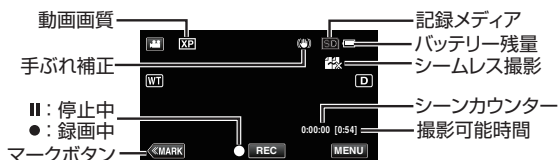
- 長期間使用しないと[時計を合わせてください]が表示されます。
  AC アダプターを 24 時間以上接続してから、時計を設定してください。
  (p. 10)

動画を撮る

インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。撮影状況に応じて、明るさやフォーカスなどを自動的に調整します。

- 人物の撮影など、特定の撮影場面では、場面に応じたアイコンが画面に表示されます。

大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

- タッチパネルの ❚❚ REC ボタンでも撮影できます。撮影を停止するときは、● REC ボタンを押します。
- マークボタンをタッチしてマークモードに切り換えると、撮影している動画に色々なマークをつけることで、あとからマークした部分を素早く探せます。

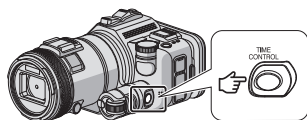
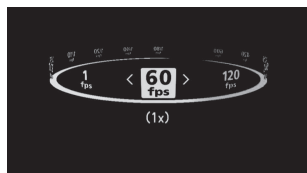
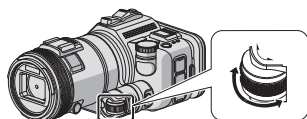
■ 動画撮影中の表示

お知らせ

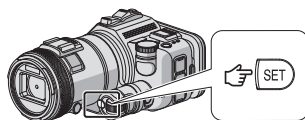
- 撮影時間の目安は、付属のバッテリーで約 60 分です。(p. 33)
- アクセスランプ点灯中は、バッテリー、A Cアダプター、SD カードを取り外さないでください。記録済みの画像データが読み出せなくなることがあります。
- 手ぶれ補正の入/切で画角が変わる場合があります。
- [オートパワーオフ] が [入] のときは、何も操作せずに 5 分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。

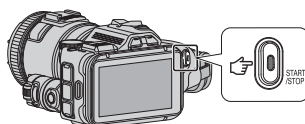
タイムコントロール機能について

タイムコントロール機能で、高速撮影やタイムラプス撮影がすばやく操作できます。

撮影速度	内容
120fps ～ 600fps	高速撮影します。 再生時に滑らかなスローモーション映像を再生できます。
30fps、60fps	通常撮影します。
1fps ～ 1/80fps	タイムラプス撮影します。 ゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

1 TIME CONTROL ボタンを押す

2 調節ダイヤルで撮影速度を選ぶ

- 右に回すと高速撮影、左に回すとタイムラプス撮影になります。

3 SET ボタンを押す

- TIME CONTROL ボタンでも決定します。

4 撮影を開始する

お知らせ

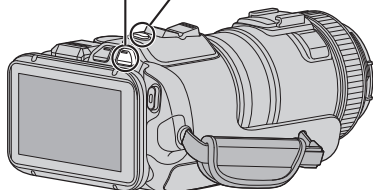
- 撮影した動画に音声は記録されません。
- 電源を切ると設定がリセットされます。

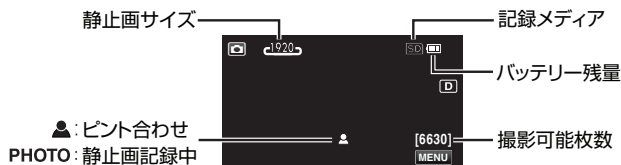
＜高速撮影について＞

- [ビデオ記録フォーマット]が[AVCHD]のときは、高速撮影を設定できません。
- 高速撮影を設定している間は、光学ズームのみ使えます。

＜タイムラプス撮影について＞

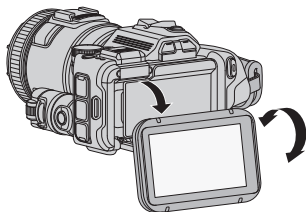
- タイムラプス撮影中は、ズーム操作、静止画同時撮影、および手ぶれ補正が使えません。
- タイムラプス撮影中は、シームレス撮影は行いません。

静止画を撮る

● 手ぶれ補正は、半押ししたときのみ動作します。

■ 静止画撮影中の表示

お知らせ

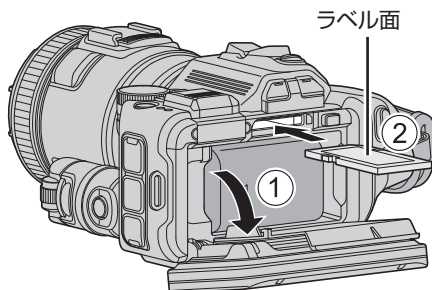
● 本機の温度が上がりすぎると回路保護のため、電源が切れることがあります。

■ 液晶モニターの角度を調節する

カメラを高い位置や低い位置に構えて撮影するときなどに、液晶モニターの角度を変えて撮影できます。

お知らせ

● 液晶モニターを動かすときは、接続部が破損しないよう、無理な力を加えず動かしてください。
● カメラを使わないときや持ち運ぶときは、液晶モニターを戻してください。

SD カードに記録するには

SD カードに記録するには、メディアの設定が必要です。
お買い上げ時は[内蔵メモリー]に設定されています。

1 液晶モニターを開け、バッテリーカバーを開ける

2 SDカードを入れる

※ SDカードの抜き差しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

■ SD カードを取り出すとき

SD カードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

お知らせ

次の SD カードで動作を確認しています。

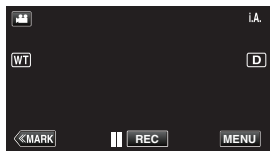
メーカー名	パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)
動画	Class 4 以上対応の SD カード(2 GB)、 Class 4 以上対応の SDHC カード(4 GB～32 GB)、または Class 4 以上対応の SDXC カード(48 GB～128 GB) ● 動画画質で[MOV 1080p LPCM]、[MP4 1080p]、[iFrame 720p]を選択した場合、Class6 以上の SDHC/SDXC カードをお使いください。 ● システムセレクトで[60p]を選択した場合、Class6 以上の SDHC/SDXC カードをお使いください。
静止画	SD カード(256 MB～2 GB)、SDHC カード(4 GB～32 GB)、または SDXC カード(48 GB～128 GB)

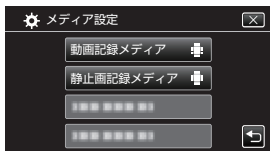
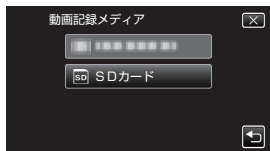
- 上記以外の SD カードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- すべての SD カードの動作を保証するものではありません。
  SD カードの仕様変更などにより使用できない場合があります。
- SD カードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- パソコンで SDXC カードを使用する場合は、お使いのパソコンの OS をご確認ください。パソコンの OS の対応状況は、Web ユーザーガイドでご確認ください。
- 1 枚の SD カードで動画と静止画を記録できます。動画で動作確認された SD カードをお使いになることをお勧めします。
- メニューの[シームレス撮影]を[入]にしておくと内蔵メモリーの撮影可能時間がいっぱいになっても、撮影を止めずに SD カードに続けて記録できます。
  ([シームレス撮影]の設定は、Web ユーザーガイドをご覧ください。)

■ SD カードを使うときは

[メディア設定]メニューの[動画記録メディア]または[静止画記録メディア]を[ＳＤカード]に変更すると、SD カードを使って記録できます。

① 本機の電源を入れる

② [MENU]をタッチする

③ [メディア設定]メニューをタッチする

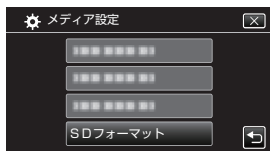
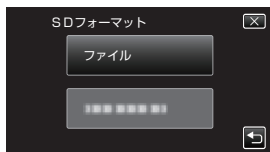
④ [動画記録メディア]または[静止画記録メディア]をタッチする

⑤ [ＳＤカード]をタッチする

- 設定を終了します。

■ ほかの機器で使っていた SD カードをはじめて使うときは

[メディア設定]メニューの[ＳＤフォーマット]で SD カードをフォーマット(初期化)します。

フォーマットすると、SD カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、SD カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

① 「SD カードを使うときは」の手順 ①～③ を実行する

② [ＳＤフォーマット]をタッチする

③ [ファイル]をタッチする

④ [はい]をタッチする

⑤ フォーマットが終わったら、[ＯＫ]をタッチする

本機で映像を見る/削除する

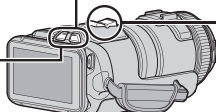
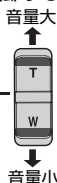
撮影した動画や静止画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生します。

1 ▣/◘(動画/静止画)ボタンを押して、動画または静止画を選ぶ

2 再生/撮影切換ボタンを押して、再生モードにする

*撮影モードに戻すには、もう一度再生/撮影切換ボタンを押します。

3 再生するファイル(映像)をタッチする

- ▦/SDをタッチすると再生するメディアが切り替わります。
- 再生中に❚❚をタッチすると、一時停止します。
- 再生中に▦をタッチすると、一覧表示画面に戻ります。(最後に再生したファイルには ▶ が表示されます。)

■ 不要な映像を削除するには

① 🗑をタッチする

② 削除するファイルをタッチする

タッチしたファイルに✔が表示されます。
✔表示を消すときは、もう一度タッチします。

③ [決定]をタッチする

④ 確認メッセージがでたら、[実行する]をタッチする

⑤ [OK]をタッチする

■ 動画のシーンを静止画にするとき

お好みの位置で再生を一時停止させ、SNAPSHOT ボタンを押します。
切り出した静止画は、動画を再生しているメディアに記録されます。

■ 再生中に使える操作ボタン(※)

	動画再生中	静止画再生中
▶/❚❚	再生/一時停止	スライドショー開始/一時停止
▦	停止(一覧表示に戻る)	停止(一覧表示に戻る)
▶▶❚	次の動画に進む	次の静止画に進む
❚◀◀	シーンの先頭に戻る	前の静止画に戻る
▶▶	早送り	-
◀◀	早戻し	-
❚▶	一時停止中にコマ送り／一時停止中に押し続けるとスロー再生	-
◀❚	一時停止中にコマ戻し／一時停止中に押し続けると逆スロー再生	-
↶	-	左に 90 度回転
↷	-	右に 90 度回転
⧉	-	連写した静止画の連続再生

※ ボタン表示は約 5 秒間で消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

準備する
撮影する
再生する
保存する
その他

テレビで映像を見る

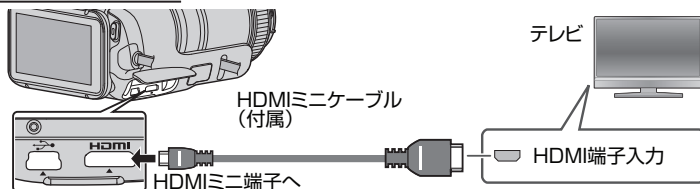
1 テレビに接続する

※ お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

- 接続する前にテレビの音量を下げてください。また、ビデオカメラとテレビの電源を切ってから接続してください。

■ ハイビジョン画質で再生するとき

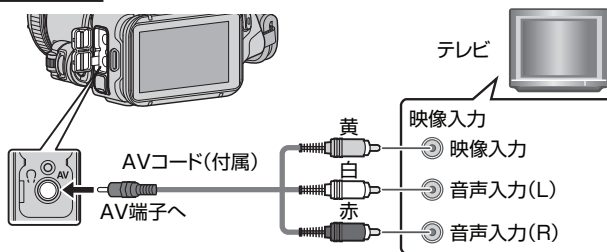
ハイビジョンテレビをお使いの場合は、本機の HDMI ミニ端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

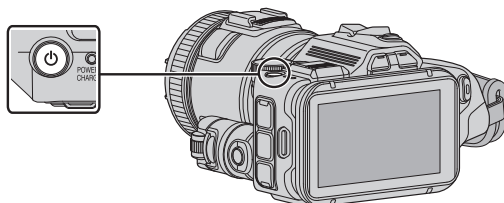
HDMI 端子でつなぐ

お知らせ

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。
- 付属の HDMI ミニケーブル以外をお使いになるときは、High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。

■ 標準画質で再生するとき

従来のテレビをお使いの場合は、AV 端子に接続すると、標準画質で見ることができます。

AV 端子でつなぐ

2 ACアダプターをつなぐ

3 電源を入れる

4 テレビの入力切換を選ぶ

5 映像を再生する　（p. 17）

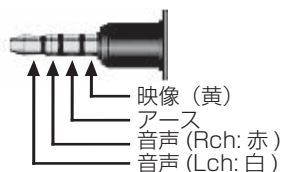
■ 日時を表示して再生したいときは

動画再生モードで、[再生設定]メニューの[日時表示]を[入]にしてください。
また、[出力設定]メニューの[テレビ表示]を[入]にしてください。

■ テレビの表示が不自然なときは

テレビに正常に表示されない	● ケーブルを抜き差ししてください。 ● 本機の電源を入れ直してください。
テレビに縦長に映る	● [出力設定]メニューの[ビデオ出力]を[４：３]に変更してください。
テレビに横長に映る	● テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	● テレビ側で画面を調整してください。

■ 専用AVコード（品番：QAM1322-001）について

４極ミニプラグ（映像/音声用）の配線仕様は下図のとおりです。
紛失等でお買い求めの際は、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。（p. 39）

いろいろな保存のしかた

本機は、いろいろな機器とつないでディスク作成や保存ができます。
○:記録/再生できる　△:再生のみできる　—:記録/再生できない

メディアの選択		標準画質		ハイビジョン画質				参照ページ
		VHS (VHS テープ)	DVD (DVD ディスク)	AVCHD (DVD ディスク)	Blu-ray Disc (ブルーレイディスク)	HDD (機器内蔵の HDD)	SD (SD カード)	
使用する機器	ブルーレイレコーダー	—	○	△ ※1	○ ※1	○	—	p. 21
	DVD レコーダー	—	○	△ ※1	—	○	—	Web ユーザーガイドをご覧ください
	ビデオデッキ	○	—	—	—	—	—	Web ユーザーガイドをご覧ください
	パソコン	—	○ ※2	○ ※3	○	○	—	p. 22
	ビデオカメラ(本機)	—	—	—	—	—	○	p. 15、p. 25

※1　AVCHD 対応機器のみ
※2　付属ソフトで DVD-Video を作成するときは、追加のソフトをインストールする 必要があります。詳しくは、ピクセラ社のホームページをご覧ください。
　http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/
※3　パソコンを使ったディスクの作りかたについて、詳しくは付属ソフトのヘルプをご覧ください。

お知らせ

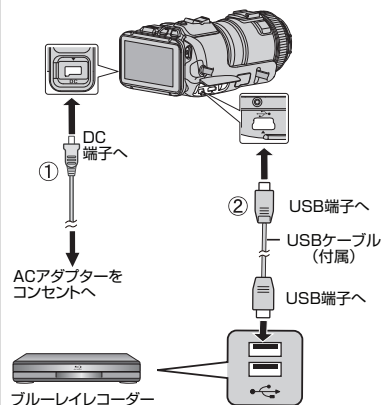
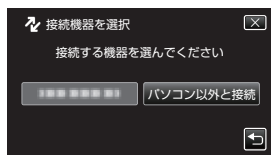
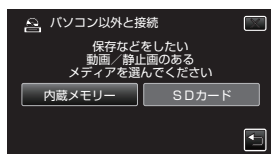
- AVCHD は DVD ディスクにハイビジョン画質で保存(記録)します。AVCHD に対応していない機器では再生できませんので、ご注意ください。

ブルーレイレコーダーと接続してディスクを作る

ブルーレイレコーダーと USB ケーブルで接続すると、ブルーレイレコーダーでディスクを作成できます。

1 ブルーレイレコーダーに接続する

① 本機の DC 端子に付属の AC アダプターをつなぎ、コンセントにつないでから電源を入れる

② 付属の USB ケーブルを使用して、本機とブルーレイレコーダーを接続する

2 [パソコン以外と接続] をタッチする

3 保存対象メディアをタッチする

- 画面が切り換わったら、ブルーレイレコーダー側で操作してください。

4 ブルーレイレコーダー側でダビングする

- ブルーレイレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ダビングが終了したら、USB ケーブルを抜いてください。USB ケーブルを抜くまで本機は操作できません。

お知らせ

- 下記のホームページもご覧ください。

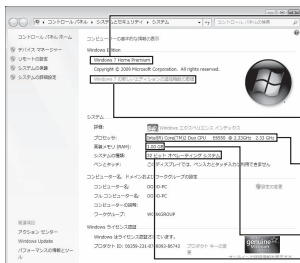
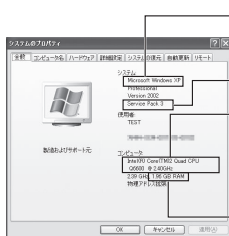
http://www3.jvckenwood.com/dvmain/

準備する
撮影する
再生する
保存する
その他

パソコンに保存する

パソコンの性能(目安)を確かめる

Windows パソコンをお使いのかたは
付属ソフトを使って、パソコンに映像を保存できます。
スタートメニューの「コンピュータ」(Windows Vista)または「コンピューター」(Windows 7)、「マイコンピュータ」(Windows XP)を右クリックし、「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

■ Windows 7 / Windows Vista の場合

■ Windows XP の場合

■ そのほかの条件

ディスプレイ:1024×768 ピクセル以上(1280×1024 ピクセル以上を推奨)
グラフィック:Intel G965 以上を推奨

■ 動画編集

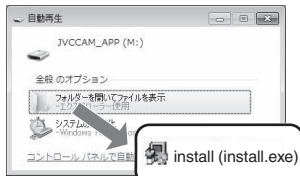
Intel Core i7, CPU 2.53 GHz 以上推奨

Mac コンピューターをお使いのかたは
アップル社の iMovie'08、'09、'11(動画)または iPhoto(静止画)を使って、コンピューターにファイルを取り込めます。
- 操作については、Web ユーザーガイドおよび iMovie,iPhoto のヘルプをお読みください。
- すべてのコンピューター環境での動作を保証するものではありません。

付属ソフトをインストールする

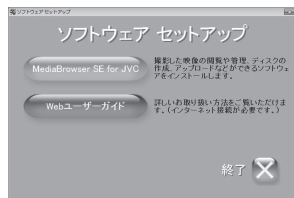
付属のソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

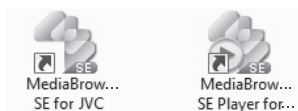
① 自動再生画面で "フォルダを開いてファイルを表示"をクリックしたあとに、"install（または、install.exe）"をダブルクリックする。

② ユーザーアカウント制御画面で "はい" をクリックする。

※Windows 7 の場合

- Windows Vista の場合は、"許可"（続行）をクリックします。
- しばらくすると "ソフトウェアセットアップ"が表示されます。
- 表示されないときは、"コンピューター"または "マイコンピュータ"のなかの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。
- Windows XP の場合は、手順 2 へ進みます。

2 "MediaBrowser SE for JVC"をクリックする

- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

3 "完了"をクリックする

4 "終了"をクリックする

- インストールが完了し、デスクトップにアイコンが２つ表示されます。

お知らせ

Web ユーザーガイドをご覧になるには、インターネットに接続して手順 2 で "Web ユーザーガイド"をクリックしてください。

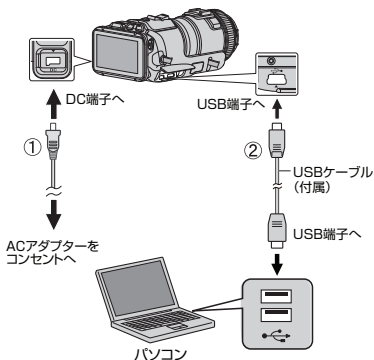
- "MediaBrowser"の操作方法は、"MediaBrowser"ツールバーの "ヘルプ"－ "MediaBrowser ヘルプ"をご覧ください。取扱説明書が表示されます。

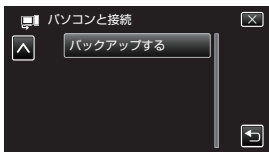
すべてのファイルをバックアップする

バックアップする前に、パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してください。
空き容量が不足していると、バックアップを開始しません。

1 USB ケーブルと AC アダプターを接続する

① 本機の DC 端子に付属の AC アダプターをつなぎ、コンセントにつないでから電源を入れる

② 付属の USB ケーブルを使用して、本機とブルーレイレコーダーを接続する

2 [パソコンと接続] をタッチする

3 [バックアップする] をタッチする

- パソコンで付属ソフト MediaBrowser が立ち上がります。
  以降の手順は、パソコンで操作します。

4 画像ファイルの保存元を選び、"次へ"をクリックする

5 バックアップを開始する

ファイルの保存先（パソコン）

6 "完了しました"が表示されたら、"OK"をクリックする

付属ソフト **MediaBrowser** の操作などで困ったときは、裏表紙の「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。

■ 本機をパソコンから取りはずすとき

① "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする

② "USB 大容量記憶装置～"をクリックする

③ （Windows Vista の場合）"OK"をクリックする

④ USB ケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる

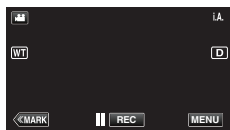
映像ファイルをSDカードにコピーする

動画や静止画は、内蔵メモリーからSDカードにコピーすることができます。
お店でプリント（現像）するときは、静止画をSDカードにコピーしておくと便利です。

お知らせ

- コピーする前に、十分な空き容量があることを確認してください。
- ＳＤカードの動画や静止画は、内蔵メモリーへコピーすることはできません。

1 または をタッチして、動画または静止画を選ぶ

2 本体の再生/撮影切換ボタンを押して、再生モードにする

3 [MENU]をタッチする

4 [編集]をタッチする

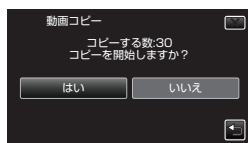
5 [コピー]をタッチする

6 コピーしたいファイル（映像）をタッチする

- タッチしたファイルに ✓ が表示されます。✓ 表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- [全選択]をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- [全解除]をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。

7 [決定]をタッチする

- どのファイルも選択されていないと、[決定]を選択できません。

8 [はい]をタッチする

- コピーが始まります。
- コピーが完了したら、[ＯＫ]をタッチしてください。

お知らせ

映像ファイルをSDカードに移動したいときは、手順５で[ムーブ]を選んでください。移動した映像は、内蔵メモリーから削除されます。

準備する
撮影する
再生する
保存する
その他

Wi-Fi 機能を使う

スマートフォンやパソコンと無線で接続して、次のようなことができます。
詳しくは Web ユーザーガイドやアプリケーションユーザーガイドをご覧ください。

■ ダイレクトモニター　(※)

スマートフォン(またはパソコン)と直接接続(Wi-Fi Direct 接続)して、ビデオカメラの映像をモニターできます。
モニター中は、動画撮影または静止画撮影が可能です。
また、撮影中にスポーツの得点シーンや勝利シーンなど状況に応じた各種マークをつけ、再生時に雰囲気を演出できます。

■ 宅内モニター　(※)

無線 LAN ルーターを使用した家庭内アクセスポイント経由でスマートフォン(またはパソコン)と接続して、ビデオカメラの映像をモニターできます。
モニター中は、動画撮影または静止画撮影が可能です。

■ 宅外モニター(※)

外出先からインターネット経由でスマートフォン(またはパソコン)と接続して、ビデオカメラの映像をモニターできます。
モニター中は、動画撮影または静止画撮影が可能です。

■ お知らせメール

ビデオカメラが人の顔や物体の動きなどを検出すると静止画が撮影され、E メールで自動的に送信されます。
検出時にカメラに動画を記録する機能もあります。

■ ビデオメール

動画を撮影(最大 15 秒)して、E メールで送信できます。

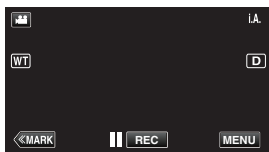
■ 競技計測アプリ(※)

駅伝などで時間計測を行い、撮影しているビデオカメラの映像に、合計時間、ラップタイム、順位を表示します。

※ スマートフォン用アプリケーションのインストールが必要です。

メニュー操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 [MENU]をタッチする

2 トップメニューの希望するボタンをタッチする

（撮影モードのとき）

3 設定したい項目をタッチする

（アイコンタイプの画面）

- ＜および＞でスクロールします。

（リストタイプの画面）

- ∧および∨でスクロールします。

■設定を終了するとき

×をタッチする

■一つ前の画面に戻るとき

⮌をタッチする

準備する　撮影する　再生する　保存する　その他

設定メニュー一覧

動画/ 静止画・REC 撮影

■ [Wi-Fi メニュー](p. 26)

ダイレクトモニター

宅内モニター

宅外モニター

お知らせメール

ビデオメール

Wi-Fi 共通設定

動画・REC 撮影

■ [撮影設定メニュー]

（撮影ダイヤルの位置）

フォーカスアシスト（P、A、S、M、U、SCN のみ）

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。

アシストカラー（P、A、S、M、U、SCN のみ）

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定できます。

ホワイトバランス（P、A、S、M のみ）

光源に合わせて、色合いを調節できます。

テレマクロ（P、A、S、M、U のみ）

ズームの望遠（T）側のときに接写できるようになります。

ゼブラ（P、A、S、M、U のみ）

指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様（ゼブラパターン）を表示します。

タッチ優先ＡＥ／ＡＦ（ のみ）

人物の顔、またはタッチした部分の色やエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

ライト

ライトの点灯/消灯を設定します。

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

感度アップ（P、A、S、M のみ）

暗いところで自動的に明るく調節します。

ウィンドカット

風の音を低減します。

グリッド

被写体の傾きや構図がわかるように格子状の線（グリッド）を表示します。

スマイルショット（ のみ）

笑顔を検出したら、動画撮影状態はそのままで、自動的に静止画を撮影します。

スマイル%（ のみ）

人物の笑顔度をパーセントで表示します。

シームレス撮影

内蔵メモリーの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り換えて撮影を続けます。シームレス撮影ができないときは、 が表示されます。

ビデオ記録フォーマット

記録フォーマットを[AVCHD]、または[MP4/MOV]に設定します。

システムセレクト

記録するフレームレートを設定します。

動画画質

動画画質を設定します。

ズーム倍率

ズームの最大倍率を設定します。

x.v.Color(AVCHD のみ)

より忠実に色を記録します。
(再生するときは、x.v.Color 対応テレビをお使いください)

USER ダイヤル

シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、感度アップの設定を保存し、撮影ダイヤルを「U」に合わせるだけで同じ設定で撮影できるようにします。

ズームマイク

ズーム操作に合わせて、指向性のある音声を記録できます。

マイクレベル表示

マイクレベルを表示するか設定します。

マイクレベル設定

マイクレベルを設定します。

ヘッドフォン音量調整

接続するヘッドホンの音量を設定します。

K2 テクノロジー

デジタル信号処理による音質劣化を改善し、原音に近い音質で記録します。

■ [お楽しみ撮影メニュー]

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影開始および撮影停止をします。

日時表示記録

動画に撮影日時を入れて記録できます。日時を表示させてディスクなどに保存したいときに設定します。(日時表示を消すことはできません。)

静止画・REC 撮影

■ [撮影設定メニュー]

(撮影ダイヤルの位置)

フォーカスアシスト(P、A、S、M、U、SCN のみ)

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。

アシストカラー(P、A、S、M、U、SCN のみ)

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定できます。

ホワイトバランス(P、A、S、M のみ)

光源に合わせて、色合いを調節できます。

テレマクロ(P、A、S、M、U のみ)

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

タッチ優先ＡＥ／ＡＦ(のみ)

人物の顔、またはタッチした部分の色やエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

フラッシュ

フラッシュを発光するか設定します。
フラッシュを使用するときは、レンズフードを取りはずしてください。

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。

ISO 感度(P、A、S、M、U のみ)

被写体の明るさに応じて ISO 感度を設定します。

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

スマイルショット(のみ)

笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。

スマイル%(のみ)

人物の笑顔度をパーセントで表示します。

静止画サイズ

記録する静止画の大きさ(ピクセル数)を設定します。

グリッド

被写体の傾きや構図がわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

USER ダイヤル

シャッタースピード、絞り、ホワイトバランス、ISO 感度の設定を保存し、撮影ダイヤルを「U」に合わせるだけで同じ設定で撮影できるようにします。

■ [お楽しみ撮影メニュー]

フレームイン REC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に撮影します。

動画・PLAY 再生

■ [再生設定メニュー]

日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。

ダイジェスト再生

撮影した動画のダイジェストを再生します。

特殊ファイル再生

管理情報を修復できない動画ファイルなどを再生します。

静止画切り出しタイプ

動画から静止画を切り出すときのタイプを選びます。

静止画切り出し間隔

動画からの静止画を連続で切り出すときの間隔を設定します。

日時表示

撮影した日時を表示します。

■ [編集メニュー]

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

コピー

内蔵メモリーから SD カードにコピーします。

ムーブ

内蔵メモリーから SD カードに移動します。

トリミング

動画から必要な部分をコピーし、新しい動画として保存します。

シームレス撮影管理

シームレス撮影した別々のメディアに分かれているシーンの結合/解除をします。

静止画・PLAY 再生

■ [再生設定メニュー]

日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。

■ [編集メニュー]

プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。

コピー

内蔵メモリーから SD カードにコピーします。

ムーブ

内蔵メモリーから SD カードに移動します。

動画/静止画共通

■ [セットアップメニュー]

スマートユーザーガイド

スマートユーザーガイドにアクセスするための QR コードを表示します。

時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

日付表示配列

年月日の並び順と、時間表示(24h／12h)を設定します。

LANG.／言語

メニューなどで表示する言語を設定します。
日本語/英語/フランス語/スペイン語/ポルトガル語/中国語(簡体)/韓国語に対応しています。

モニター明るさ

画面の明るさを調整します。

操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5 分放置でバッテリー使用時は電源を切り、AC アダプター使用時は待機状態になります。

高速起動

5 分以内に電源を入れると、すぐに起動できます。

タッチパネル調整

タッチパネルボタンの反応位置を調整します。

工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。

オープンソースライセンス(撮影時のみ)

本機で使用しているオープンソースソフトウェアのラインセンスを表示します。

■ [出力設定メニュー]

テレビ表示

テレビで再生するときに、アイコンや日時の表示を入/切できます。

ビデオ出力

接続するテレビに合わせた画面比(16:9 または 4:3)に設定します。

HDMI 出力

テレビの HDMI 端子に接続するときに、本機の HDMI ミニ端子の出力を設定します。

HDMI 機器制御

HDMI CEC 規格に対応するテレビと連動します。

■ [メディア設定メニュー]

動画記録メディア

動画の保存先を内蔵メモリーまたは SD カードに設定します。

静止画記録メディア

静止画の保存先を内蔵メモリーまたは SD カードに設定します。

メモリーフォーマット

内蔵メモリーのファイルをすべて消去(初期化)します。

SD フォーマット

SD カードのファイルをすべて消去(初期化)します。

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- メニューの使いかたは、p. 27 をご覧ください。

撮影時間/枚数の目安

動画の撮影可能時間の目安

■ ビデオ記録フォーマット：AVCHD

画質	内蔵メモリー	SDHC/SDXC カード						
	32 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB	128 GB
60p	2 時間 20 分	15 分	35 分	1 時間 10 分	2 時間 30 分	3 時間 50 分	5 時間	10 時間 10 分
XP	3 時間 50 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間	6 時間	8 時間 10 分	16 時間 20 分
EP	13 時間 40 分	1 時間 40 分	3 時間 30 分	7 時間 10 分	14 時間 40 分	21 時間 30 分	28 時間 50 分	57 時間 50 分

■ ビデオ記録フォーマット：MP4/MOV

画質	内蔵メモリー	SDHC/SDXC カード						
	32 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB	128 GB
MOV 1080p LPCM	1 時間 40 分	10 分	25 分	50 分	1 時間 40 分	2 時間 30 分	3 時間 30 分	7 時間
MP4 1080p	1 時間 50 分	10 分	25 分	55 分	2 時間	2 時間 50 分	3 時間 50 分	7 時間 50 分
MP4 720p	5 時間 30 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 50 分	5 時間 40 分	8 時間 30 分	11 時間 20 分	22 時間 50 分
iFrame 720p	1 時間 50 分	10 分	30 分	1 時間	2 時間	3 時間	4 時間	8 時間

- 撮影可能時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）

画像サイズ	内蔵メモリー	SDHC/SDXC カード					
	32 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4000X3000 (12M) (4:3)	4200	500	1100	2200	4500	9000	9999
2816x2112 (5.9M) (4:3)	8600	1100	2200	4500	9200	9999	9999
2048x1536 (3.1M) (4:3)	9999	2100	4200	8500	9999	9999	9999
1920X1080 (2M) (16:9)	9999	3100	6500	9999	9999	9999	9999
640×480 (0.3M) (4:3)	9999	9999	9999	9999	9999	9999	9999

- 動画撮影中に静止画を撮影したとき、および撮影済みの動画から静止画を切り出したときは、1920 x 1080 のサイズで保存されます。

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間 (最大撮影時間)
BN-VF815	1 時間	2 時間

- [ライト]が[切]、[モニター明るさ]が[3](標準)のときの値です。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源入/切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。(撮影予定時間の約 3 倍分を用意することをおすすめします)
- 撮影環境や使用方法によって、撮影時間は変化します。
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

困ったときは

困った時には修理を依頼する前に以下の手順でご確認ください。

1 以下の「こんなときは･･･」をご覧ください。

2 Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご覧ください。

使い方で困ったときも Web ユーザーガイドに詳しい説明が記載されています。

- http://manual3.jvckenwood.com/index.html/

3 ホームページで最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。

- http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/index.html

4 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示や正常に動作しないことがあります。

そのようなときは、以下の手順で本機をリセットしてください。

① 電源を切る。

② 電源（バッテリーとＡＣアダプター）をいったん取りはずし、再度接続して電源ボタンを押すと、本機の電源が入ります。

5 上記確認で解決しない場合や不具合がある場合は、お買い上げ店、または弊社カスタマーサポートセンター（裏表紙参照）にお問い合わせください。

こんなときは…

	こんなときは	ここを確かめてください	参照ページ
電源	POWER/CHARGE ランプが点滅する	● バッテリーの充電中です。	10
撮影	撮影できない	● [動画]/[静止画] ボタンを確認してください。 ● 再生/撮影切換ボタンを押して撮影モードにしてください。	12 17
撮影	自動的に撮影が停止した	● 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。（本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。） ● 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。	- -
撮影	インテリジェントオートで正しく撮影できない	● 複数の光源がある場所など、撮影状況によっては、インテリジェントオートで明るさやフォーカスが正しく調整できないことがあります。このようなときは、マニュアルで調整してください。	-
再生	音や映像が途切れる	● シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。	-

その他			
その他	充電中、ランプが点滅しない	● バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。) ● 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)	- 10
その他	電源/充電ランプとアクセスランプが点滅して操作できない	● 電源を切ったあと、電源(バッテリーとAC アダプター)をいったん取りはずし、再度接続したあとに電源ボタンを押して電源を入れてください。解決しない場合は、お買い上げの販売店またはJVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	-
その他	本機が熱くなる	● 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)	-

こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら	ここを確かめてください	参照ページ
内蔵メモリーへ 記録できませんでした/ カードへ記録できませんでした	● 本機の電源を入れ直してください。 ● 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、[メディア設定]メニューの[メモリーフォーマット]または[SDフォーマット]を実行してください。(データはすべて消えます。)	- -
撮影データが少ないため 保存できません	● タイムラプス撮影で、実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。	-
内蔵メモリーエラー/ カードエラー	● 本機の電源を入れ直してください。 ● AC アダプターとバッテリーを取りはずし、SD カードを入れ直してください。 ● SD カードの端子の汚れを取り除いてください。 ● 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、[メディア設定]メニューの[メモリーフォーマット]または[SDフォーマット]を実行してください。(データはすべて消えます。)	- - - -

使用上のご注意

● 精密機械ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。
記録や再生ができなくなります。
● 本機、バッテリーなどを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
内部の電池やバッテリーは、高温になると、破裂することがあります。
● 本機をタオルや布などで覆って使用しないでください。
● 撮影したデータはパソコンやDVDなどに保存してください。
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存してください。3ヵ月に1回程度は保存することをおすすめします。
● 本機やパソコンの機能によるファイルの削除では本機の内蔵メモリーやＳＤカードのデータは完全には消去されません。本機を譲渡する際は本機の"メモリーフォーマット"および"工場出荷"を実行し、ＳＤカードを譲渡する際は本機の"ＳＤフォーマット"を実行、または市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、廃棄の際は物理的に破壊することをおすすめします。
これらの作業はお客様の責任において行ってください。
万が一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

●分解/改造すること

本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業･科学･医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、弊社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

●製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4DS/OF4

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
DS/OF : 変調方式がDS-SS、OFDMであることを示します。
4 : 電波与干渉距離は40mです。
■■■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
お問い合わせ：一般社団法人JBRC http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
  1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
  2) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、またはMPEG LAより ライセンスを取得したプロバイダが記録したもの）を再生する場合
  詳細については、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。
  http://www.mpegla.com

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

液晶画面について

- 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。
- 市販の反射防止フィルムや保護フィルムなどをお使いになれます。
  ただし、フィルムの厚みなどによっては、タッチパネルがスムーズに動かなくなったり、多少画面が暗くなることがあります。

他社製品の登録商標と商標について

- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- x.v.Colorと **x.v.Color** は商標です。
- HDMI® (High-Definition Muitimedia Interface) と HDMI® HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE は、HDMI Licensing. LLC の商標または登録商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーとダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標および登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- iMovie、iPhoto、iPhoneは、米国およびその他の国で登録された米国Apple,Inc.の商標です。
- iFrameロゴおよびiFrameシンボルは、Apple Inc.の商標です。
- Intel Core、Pentium、Celeronは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Protected Setupロゴ、WPAおよびWPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

仕様

カメラ本体

電源	AC アダプター使用時:DC 11 V、バッテリー使用時:DC 7.2 V
消費電力	4.4 W([モニター明るさ]が[3](標準)の場合) 定格消費電流:1A
外形寸法(mm)	110 x 76 x 183 (幅 x 高さ x 奥行き:グリップベルト、ビューファインダー、突起部を含まず)
質量	約 500 g(本体のみ)、約 585 g(付属バッテリー含む)
動作環境	許容動作温度:0℃ ～ 40℃、許容保存温度:－20℃ ～ 50℃、許容相対湿度:35 % ～ 80 %
映像素子	1/2.3 型 1276 万画素(裏面照射 CMOS)
撮像エリア(動画)	MOV 1080p LPCM/MP4 1080p/AVCHD モード 207 万～540 万画素(手ぶれ補正:切、ダイナミックズーム:入) MP4 720p/iFrame 720p モード 92 万～357 万画素(ダイナミックズーム:入)
撮像エリア(静止画)	(4:3)594 万画素、(16:9)541 万画素(手ぶれ補正:切)
レンズ	F1.2 ～ F2.8、f= 3.76 mm ～ 37.6 mm 動画(MOV 1080p LPCM/MP4 1080p/AVCHD モード) 35mm カメラ換算:29.5mm～476mm (ダイナミックズーム:入、手ぶれ補正:切) 動画(MP4 720p/iFrame 720p モード) 35mm カメラ換算:36.3mm～715mm (ダイナミックズーム:入、手ぶれ補正:切) 静止画 35mm カメラ換算:29.8mm～345mm (4:3) 35mm カメラ換算:34.4mm～397mm (16:9)
ズーム(動画)	光学ズーム:～ 10 倍 ダイナミックズーム:～16 倍(手ぶれ補正:切) デジタルズーム:～ 64 倍
ズーム(静止画)	光学ズーム:～ 10 倍
動画記録方式(AVCHD)	映像: MPEG-4 AVC/H.264 音声: AC3 (2ch) Dolby Digital
動画記録方式(MOV/MP4)	映像: MPEG-4 AVC/H.264(MP4) 音声: AAC (2ch) (MP4 のとき)/LPCM (2ch) (MOV のとき)
静止画記録方式	JPEG 準拠
記録メディア	内蔵メモリー、SD/SDHC/SDXC カード(市販)
時計用電池	二次電池

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「困ったときは」（p.34）にしたがって、まずはご確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。
保証書は大切に保管してください。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口における
個人情報のお取り扱い

株式会社JVCケンウッドおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

サービス窓口

下記URLをご覧ください。
http://www32.jvckenwood.com/support/after/

免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/

付属ソフトMediaBrowserのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター

0120-727-231
（受付時間　10:00～18:00
・年末年始、祝日、休業日を除く
・電話番号および受付時間が変更になる場合があります。）

携帯電話でご利用の場合
0570-064-246

フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用できない場合
FAX 06-6633-2992 (24時間受付)

ホームページ http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

取扱い方法などのご相談

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
にご相談ください。

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、またはJVCケンウッド
カスタマーサポートセンターにご相談ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87
2011年4月から名称および
電話番号が変更になりました。

（月曜～金曜　9:30～18:00
土曜　9:30～12:00、13:00～17:30
・日曜祝日、弊社休業日を除く
・電話番号および受付時間が変更になる場合があります。）

- 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは　045-450-8950

ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の
提供サービスなどをご利用いただけます。
http://www3.jvckenwood.com/reg/

株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地

- 日本ビクター、ケンウッド、J&K カーエレクトロニクス、JVC ケンウッドの 4 社は合併し、株式会社 JVC ケンウッドになりました。
- 本書の内容は 2013 年 4 月現在のものです。内容は予告なく変更することがあります。最新の情報はホームページをご覧ください。
- ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、p. 39 をご覧ください。

C3Z　0413AJH-SW-VM